

ロービングウォール工法

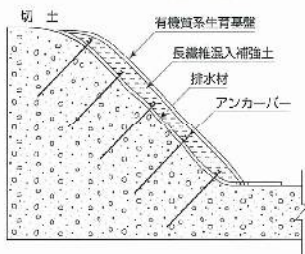
RSIグラウンドアンカー工法

当工法は砂と水の混合物の中に長繊維をエアの圧力により強制的に混入した土構造物と、その土構造物表面を植生基材吹付工などで緑化する2種類からなる工法の一体施工方法の総称です。

ロービングウォール工法
長繊維混入補強土一体緑化工法

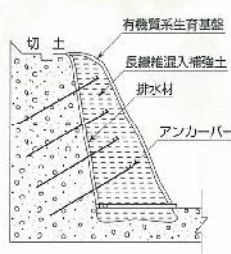
のり面保護タイプ

1:0.5より緩いのり面勾配
造成厚さ20cm



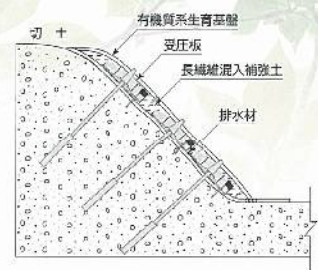
擁壁タイプ

1:0.5未満の急なりのり面勾配
擁壁形状で造成



のり面安定タイプ

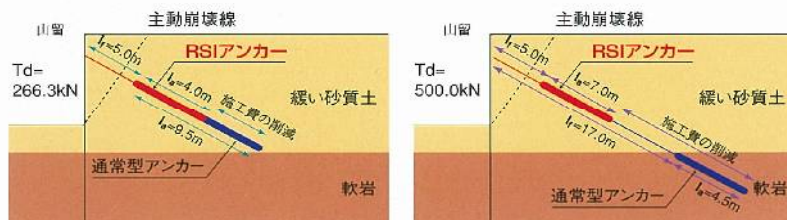
アンカー受圧板を組込んだタイプ
造成厚さ20cm



RSIグラウンドアンカー工法

RSIグラウンドアンカー工法は、従来の永久アンカーでは設置が困難であった緩い砂質土や粘性土分の多い地盤、風化の著しい岩盤、盛土地盤に対してアンカーを適用でき、さらに、グラウトが逸散し易い隙層、亀裂や空洞の発達した岩盤など、広範囲の地盤に適用可能です。

これは、アンカー tendon の外周に二重防食カプセルとして特殊な注入パイプ（インジェクションパイプ）が組み合わせる事により、セメントペーストを所定の位置に繰り返し注入できるからです。この結果、アンカー体径を拡大する事が可能となり、通常のアンカーに比べ大きな極限引抜き力を得ることができます。また、アンカー緊張時の応力を周辺地盤に伝達するインジェクションパイプには亜鉛メッキ加工された鋼管パイプを使用しており、その内外はセメントペーストで充填されているため、完全な二重防食構造となっています。



お問い合わせ先

長繊維緑化協会 九州支部 / RSI アンカー協会

事務局：〒812-0043 福岡県福岡市博多区堅粕1-28-44

ライト工業（株）九州統括支店内

TEL 092-651-4331 FAX 092-641-4199

URL www.choseni.org